

新生公立鳥取環境大学の学部学科改編の申請について

「鳥取環境大学の総合的な改革案」に基づく学部学科改編の内容（環境学部環境学科と経営学部経営学科の設置）については、文部科学省との事前相談を行っていたところ、同省との調整が整ったため、5月中に正式に届出を行う。

（教職課程の設置認定については、7月中の申請に向け、文部科学省と継続して協議中）

届出の概要

1 学部学科改編について

平成24年4月から、環境学部環境学科と経営学部経営学科の2学部2学科制とする。

※現在1学部4学科（環境情報学部（環境政策経営学科、環境マネジメント学科、建築・環境デザイン学科、情報システム学科）

2 教育内容について

(1) 人間形成（教養）科目の主な内容

- ・全国的な著名人や大学のアドバイザーを講師に、最先端の知識と情報を吸収
- ・地域特有の文化・産業や鳥取の自然、文化、歴史を学ぶ（漫画家や漫画文化の研究者を講師に招聘し漫画の様々な側面について学ぶ「まんが文化論」の新設、ジオパークなど鳥取独自の地域資源を学ぶ「鳥取学」の拡充 等）
- ・実務的な英語力のスキルアップ

<主な科目>

環境学概論、特別講義、鳥取学、ビジネス英語、国際交流論、ロシア語 等

(2) 環境学部の主な内容

- ・自然環境保護の視点を持った農林水産業の振興に貢献できる人材の育成
- ・廃棄物マネジメントを総合的に学習
- ・これまでも先進的に取り組んできたバイオマス関連の研究をさらに展開

<その他の主な科目>

自然環境保全概論、環境マネジメント概論、循環型社会形成概論、漁業資源保全学、廃棄物マネジメント学、環境学フィールド演習、動物行動学、地域交通システム論 など

(3) 経営学部の主な内容

- ・山陰初の経済・経営系の学部として、地元企業が求める経営人材の育成
- ・環境を意識しながら地域活性化につなげる研究
- ・貿易の実務者を招聘した「アジア交易とビジネス取引」や、企業の経営者等を招聘した「経営・ビジネス特論」により、実学を学び、社会の実際に触れる。
- ・海外とビジネスを行うための実務的なスキルの習得

<その他の主な科目>

観光経営概論、農業経営概論、地域経営論、エコツーリズム論、貿易実務英語、経営シミュレーション など

(4) 資格教育の充実

- ・理科の中学・高校教諭の免許状が取得できる科目を新たに編成
- ・簿記、金融・保険関係（フィナンシャルプランナー等）等の就職に役立つ実務的な資格の取得につながる科目を充実

3 教員について

新たな学部学科の設置に伴い、専門課程15名、教職課程4名の専任教員が新たに着任

（公立化後の専任教員数50名中、19名（約4割）が新任
※専門課程については、40名中、15名（約4割）が新任）

〔参考〕新たに招聘する教員の状況

環境学部

【エネルギー・バイオ分野】

- ・東京大学名誉教授（横山伸也氏／バイオマス研究の第一人者。地球温暖化対策等への造詣も深い）

【農業政策分野】

- ・京都大学大学院教授（農業土木学・農村計画学・地域計画学に精通。）

【廃棄物分野】

- ・前財団法人日本産業廃棄物処理振興センター国際協力部長（松村治夫氏／廃棄物処理の専門家）
- ・北海道大学大学院助教（廃棄物工学の専門家）

【地形・地質分野】

- ・鳥取大学名誉教授、元地域学部長（岡田昭明氏／鳥取砂丘や大山等、県内の自然環境研究の第一人者）

【水・土壌環境分野】

- ・京都大学大学院助教（海洋微生物学の専門家）
- ・オハイオ州立大学環境自然資源学部博士研究員（角野貴信氏／土壌学の専門家）

経営学部

【金融分野】

- ・一橋大学名誉教授（数理統計学、統計ファイナンスを専門とする金融工学の権威）
- ・ファイナンシャルプランナー（泉美智子氏／わかりやすく経済学を伝える活動を全国で展開）

【経営戦略・マーケティング分野】

- ・京都大学大学院教授（経営学の観点からの組織研究などに精通）
- ・九州共立大学准教授（マーケティング・デザイン分野の専門家。元民間企業の商品開発担当）

【国際分野】

- ・広島大学大学院教授、社会科学部研究科長、元経済学部長（富岡庄一氏／ロシアをはじめとする海外の経済史経営史の専門家）
- ・都市自治体シンクタンク研究員（地域政策、観光政策、インバウンドの専門家）

【地域振興分野】

- ・京都大学大学院地球環境学教授（武部隆氏／農業経営、資源利用評価の専門家）
- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了（酒井裕規氏／交通経済、公益事業論の専門家）

※一部教員については、現勤務先との関係があるため氏名を掲載していません。